

校訓
 明朗
 剛健
 立志

比内中学校報

中 第 1 3 号
 大館市立比内中学校
 TEL: 55-1505

本校教育目標：ふるさとに根ざし 明るく たくましく生きる生徒の育成

第3回 学校運営協議会 年度評価実施

1月31日（金）、12名の委員の方々が来校し、第3回学校運営協議会が行われました。各種アンケート、授業参観、ヒアリング（生徒・教職員）を基に、今年度の学校評価をしていただきました。生徒や教職員の頑張りについて高く評価していただきましたが、課題や期待することについても御意見をいただきました。年度の評価書の詳細については、学校ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

学校運営協議会での評価を紹介します。



内 容	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント【一部抜粋】
I 学び プロジェクト	良好	生徒と先生に笑顔があり、よい雰囲気できいきと授業が行われている。今後は家庭学習の自ら学ぶ意識付けをしてほしい。
II 心と体 プロジェクト	良好	自ら夢を語る生徒がおり、とても成長を感じる。ふるさとキャリア教育を通して、地域との関わりが心を育てている。
III 生き方 プロジェクト	良好	「とんぶりSDGs」をはじめ、総合的な学習の時間などが年々進化し、生徒の成長につながっている。
IV 保護者・ 地域との連携	良好	学年通信や学校報などの発行により、学校の様子が分かる。連絡メールの配信によりタイムリーに情報を得られている。
V 学校運営 学校管理	良好	どのクラスも生徒と先生の笑顔があふれる授業が行われている。教師一人一人の意識が高まり、実践や指導につながっている。

※評価区分【5きわめて良好 4良好 3おおむね良好 2やや不十分 1努力を要する】

PTA三役会・生徒活動後援会合同役員会 ～今年度の活動の振り返り、次年度へ～

2月17日（月）に、PTA合同役員会を行いました。お忙しい中、御参加いただきましてありがとうございました。全体会で今年度のPTA活動と令和7年度の主な学校行事について確認しました。その後、各活動部に分かれ、今年度の活動部の成果と課題について話し合いました。次年度に向けての改善案などを協議しました。

決定！メディアは週1、1時間以内 (比内中生のルール・利用時間)

2月13日（火）にHSM（比内スーパーミーティング）を行いました。今回のテーマを「メディアと上手く付き合っていくにはどうすればよいか」と設定し、縦割り班での話し合い活動を通して、比内中生のメディア（スマートフォン等）の利用時間を見直し、全校生徒で利用のルールについて決定しました。

話し合い活動では、事前のアンケート結果から、かなりの生徒がメディアの利用時間が週20時間以上であることやそのために家庭での学習時間が短いことが分かり、メディア利用について見直しが必要であるというような考えや意見が多く出されました。そこで、全校生徒で週あたりの利用時間はどのくらいが適切なのかについて話を進め、結果として、比内中生のメディア利用時間は「週11時間以内」と自分たちでルールを決定しました。今後、生徒会事務局や生活委員会などを中心に、メディア利用について呼び掛けるとともに、よりよい学校生活を送ることができるように更に取り組む予定です。御家庭でも話題にしていればと思います。



【生徒会事務局の提案】



【縦割り班での話し合い】



【班の意見発表】

人権擁護・感謝状贈呈

2月13日（木）に、大館人権擁護委員連合会の方々が来校され、本校に感謝状を贈呈していただきました。これまでの中学生人権作文コンテストへの参加など、本校の取組が高く評価されました。今回は、感謝状の他に全校生徒分のスティックのりもいただきました。今週、生徒へスティックのりを配付しました。授業などで大切に使用してほしいと思います。



◆佐藤 永梨花 先生 入賞おめでとうございます！◆

○国民スポーツ大会あきた鹿角大会〔2月14日〕

種目：成年女子B・アルペン（ジャイアントスラローム）第4位



書き損じはがき

PTA会員の皆さんに御協力していただいた「書き損じはがき」ですが、77枚集まりました。たくさんの御協力ありがとうございました。